

問1 ある選挙区の比例代表選挙において、定数が5議席であり、得票数が「A党：10,000票」「B党：4,000票」「C党：6,000票」という結果になった資料があります。ドント式を用いてこの3つの政党に議席を割り当てた場合、B党に配分される議席数として正しいものを選びなさい。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 1議席 2. 2議席 3. 3議席 4. 4議席

問2 衆議院議員選挙において、小選挙区制と比較した際の比例代表制の利点として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 二大政党制になりやすく、政権が安定しやすくなる。 2. 有権者が候補者個人の資質や実績を直接判断して投票しやすい。 3. 死票（当選に結びつかなかった票）が少なくなり、少数意見が政治に反映されやすくなる。 4. 選挙区が小さいため、候補者と有権者の距離が近くなり、地域の要望を伝えやすい。

問3 選挙制度の性質を、「国民の多様な意見を反映しやすいか」という視点と「議会で物事を決定しやすいか（政権が安定するか）」という2つの視点で分析したとき、比例代表制の性質を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）

1. 得票率に応じて議席が割り振られるため、多様な意見を持つ小政党も議席を得やすく意見反映の度合いは高いが、多くの政党が議会に並立するため意見の集約が難しく、物事の決定しやすさは低くなる傾向にある。 2. 1つの選挙区で最も支持を集めた者のみが当選するため、民意の反映度は非常に限定的になるが、二大政党制を促すことで議会内での迅速な意思決定を可能にする。 3. 候補者個人の人気が直接議席数に結びつくため、地域ごとの細かい要望を反映することには優れているが、国政レベルでの重要な政策決定には時間がかかる仕組みである。 4. 全国を1つの単位として投票を行うため、死票を完全になくすことができる一方で、特定の強力なリーダーシップを持つ政党が現れにくいと、政治的な混乱を招きやすい。

問4 2016年に公職選挙法が改正され、日本において有権者の範囲が拡大されました。この改正によって、新たに選挙権が与えられることとなった年齢の基準として正しいものはどれですか。（2021年 京都公立入試 類似）

1. 満18歳以上 2. 満20歳以上 3. 満22歳以上 4. 満25歳以上

問5 日本の政治制度は間接民主制を基本としていますが、一部の重要な事項については国民が直接意思を表示する仕組みが取り入れられています。その具体例として正しいものはどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 最高裁判所裁判官の国民審査 2. 衆議院議員による内閣総理大臣の指名選挙 3. 閣僚による予算案の作成と決定 4. 国会における法律案の三審制

問6 日本の選挙制度において、都市部への人口集中などにより生じる「一票の格差」を是正し、国民の持つ一票の価値を等しくするために行われる取り組みとして、適切なものはどれですか。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 人口の変動に合わせて選挙区の区割りを変更したり、各選挙区の議員定数を増減させたりする「定数是正」を行う。 2. すべての選挙区において、議員1人当たりの有権者数が最も多い選挙区の基準に合わせて、全国の議員定数を一律に削減する。 3. 有権者数が多い選挙区でのみ期日前投票の期間を延長し、多くの国民が投票に行けるようにして一票の価値を高める。 4. 人口が少ない地方の選挙区から都市部へ有権者が移動することを制限し、各選挙区の有権者数を固定する。

問7 日本の衆議院比例代表選出議員選挙などで採用されている「ドント式」について、各政党への議席配分方法を説明したものとして適切なものはどれですか。（2018年 和歌山公立入試 類似）

1. 各政党の得票数を、1、2、3…といった整数で順に割り、その値の大きい順に定数まで議席を割り当てる。 2. 各政党の得票数を、1、3、5…といった奇数で順に割り、その値の大きい順に定数まで議席を割り当てる。 3. 全政党の総得票数を定数で割り、その「議席単価」で各政党の得票数を割った商の整数分をまず割り当てる。 4. 各政党の得票率を算出し、その割合に定数を乗じた値の小数点以下を四捨五入して議席を割り当てる。

問8 日本の衆議院議員総選挙において採用されている制度について説明した以下の文のうち、適切な名称はどれですか。「この制度は、1つの選挙区から最も得票の多い候補者を1人だけ選出する仕組みと、全国を11のブロックに分けて、政党の得票数に応じて議席を割り当てる仕組みの二つを組み合わせで運用されています。」（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 小選挙区比例代表並立制 2. 中選挙区制 3. 大選挙区制 4. 完全比例代表制

答え合わせ・解説

問1	答え 1 1議席	各党の得票数を整数（1, 2, 3...）で割った商を並べると、大きい順に「10,000（A党を1で割る）」「6,000（C党を1で割る）」「5,000（A党を2で割る）」「4,000（B党を1で割る）」「3,333...（A党を3で割る）」となります。定数5議席の場合、この上位5つの値の中にB党の数値（4,000）が1つ含まれるため、B党の議席は1議席となります。なお、A党は3議席、C党は1議席となります。
問2	答え 3 死票（当選に結びつかなかった票）が少なくなり、少数意見が政治に反映されやすくなる。	比例代表制は、有権者が政党に投票し、その得票数に応じて議席を配分するため、1位の候補者だけが当選する小選挙区制に比べて「死票」が少なくなる傾向があります。これにより、規模の小さな政党であっても議席を獲得できる可能性が高まり、多様な国民の意見を議会に反映させやすいという特徴があります。
問3	答え 1 得票率に応じて議席が割り振られるため、多様な意見を持つ小政党も議席を得やすく意見反映の度合いは高いが、多くの政党が議会に並立するため意見の集約が難しく、物事の決定しやすさは低くなる傾向にある。	比例代表制は、各政党の得票数に比例して議席を分配するため、小選挙区制では落選してしまうような小さな勢力や少数意見も議席を確保しやすくなります。これは「国民の多様な意見の反映」という点では優れていますが、議会に多くの小政党が乱立（多党化）すると、法律案などの採決において合意形成が難しくなり、「物事を決定するスピードや政権の安定性」という点では不利に働くことがあります。
問4	答え 1 満18歳以上	若者の意見をより早く政治に反映させ、主権者としての意識を高めることを目的に、2016年に公職選挙法が改正されました。これにより、選挙権年齢が従来の「20歳以上」から「18歳以上」へと引き下げられました。これは1945年に「20歳以上の男女」に選挙権が認められて以来、約70年ぶりの大きな変更です。
問5	答え 1 最高裁判所裁判官の国民審査	間接民主制を補うための直接民主制的な仕組みとして、日本では最高裁判所の裁判官が職務にふさわしいかを国民が直接判断する「国民審査」や、憲法改正の際の「国民投票」、地方自治体における「住民投票」などが認められています。これらは、主権者である国民の意思をより直接的に反映させるための制度です。
問6	答え 1 人口の変動に合わせて選挙区の区割りを変更したり、各選挙区の議員定数を増減させたりする「定数是正」を行う。	一票の格差を解消するためには、議員1人当たりの有権者数をできるだけ全国で均等にする必要があります。そのため、人口が増えた地域の議員定数を増やし、人口が減った地域の議員定数を減らす「増減」や、選挙区の境界線を引き直す「区割りの変更」といった対策が取られます。これにより、どの地域に住んでいても、一票が持つ政治的な影響力を平等に近づけることが目指されています。
問7	答え 1 各政党の得票数を、1、2、3...といった整数で順に割り、その値の大きい順に定数まで議席を割り当てる。	ドント式は、ベルギーの法学者ドントが考案した議席配分方式です。各政党の得票数を整数（1, 2, 3...）で割っていき、得られた値（商）が大きい順に、あらかじめ決められた定数に達するまで議席を配分します。これにより、得票数に応じた比較的公平な議席配分が可能となります。なお、1、3、5などの奇数で割る方式はサン・ラグ式と呼ばれます。
問8	答え 1 小選挙区比例代表並立制	衆議院では、二つの異なる選出方法を同時に行う「並立制」がとられています。小選挙区制は、1つの選挙区から1人の当選者を選ぶため、多数党に有利で政権が安定しやすいという特徴があります。一方で、死票（当選に結びつかなかった票）が多くなる傾向があるため、それを補うために、政党の得票率に応じて議席を分配する比例代表制が併用されています。